

日系社会現地レポート

『活動の集大成を迎えて...』

氏名：高橋 峻（埼玉県川口市）

2016 年度 1 次隊 派遣国：ブラジル

職種：日系日本語学校教師



olá tudo bem? みなさんこんにちは

私は現在、JICA の海外ボランティア派遣制度の一つ、日系社会青年ボランティアとして、南米のブラジルに派遣されています。活動期間は原則 2 年間、日本帰国まで、2 ヶ月を切りました。今回の現地レポートでは、活動内容について、紹介します。

★ ブラジル三州パラグアイ日本語交流お話大会



左の写真は、去年の 8 月にパラグアイ首都アスンシオンで行われたブラジル三州パラグアイ合同お話大会に参加した日系子孫の子供たちです。

同大会は

『日本との交流の懸け橋となる人材の育成』

『日系社会の未来のリーダー育成』

を目的に行われ、昨年で第 8 回目を迎えました。前回大会の第 7 回は、私の任地でもあるドウラードスで開催されました。毎年、パラナ州、サンパウロ州、南マットグROSSO 州のブラジル三州とパラグアイから地域の生徒代表を選定し、100 名弱の子供たちが各レベルにあった思い思いのテーマの作文を書き、15 歳にもなると、4 分弱の作文を暗記し、同大会に参加します。配属先のドウラードス日本語モデル校からは 6 名、巡回先の共栄分校から 3 名の生徒が参加し、私も審査員兼南マットグROSSO 州生徒の担当員として、隣国パラグアイまで引率しました。一番に印象的であったのがパラグアイブラジル両国の子供たちが「日本語」で談笑している光景です。パラグアイはスペイン語、ブラジルはポルトガル語と異なる母語でありながら、共通言語は日本語。両国長い移民の歴史がある中でも日本語が現在の 3 世 4 世にも継承されていると実感した瞬間でした。



総勢 300 人強収容
できる立派な施設
でした！

★ 漢字 T シャツ作り+日本祭りでのよさこい披露



2016年漢字 T シャツ

この漢字 T シャツはブラジル赴任前に先輩隊員からの活動報告で聞いて、私自身も活動期間中にしようと思っていた活動の一つです。正直、赴任してから 2 ヶ月でできるとは思いませんでしたが、配属先の依頼で毎年 11 月にドウラードスで開催される日本祭りに本校と分校の共同で、よさこいソーラン節を踊ることになり、その際の服装をハッピーの下に漢字 T シャツを着用したいと提案したところ、同僚も心良く賛同してくださり、実施の運びとなりました。

2016 年度の漢字 T シャツは習字の体験授業も並行しながら行い、生徒それぞれ個性が出る『世界に一つだけの T シャツ』が完成しました。



2017年漢字 T シャツ

前年度の漢字 T シャツが平常授業や学校のイベントなどで子供たちが学校のユニフォームとして、着てくるなど評判が良かったことから、2017 年度版の漢字 T シャツを作ることになりました。今回のテーマは、『折紙』で、T シャツに鶴の絵を描いたり、2 回目とあって、綺麗な仕上がり具合でした。



※写真 漢字 T シャツを着て、よさこい披露

P.S.

配属先であるドウラードス日本語モデル校のホームページを作成しました。

みなさんも宜しかったら、覗いてみてください。

<https://escolamodelo28.wixsite.com/dourados-ms>

“ドウラードス日本語モデル校”で検索すると出てきます。

Facebook ページもあります。“Escola Modelo de Dourados”で検索